

会議録(要旨)

会議の名称	多摩北部都市広域行政圏協議会 令和3年度 第2回審議会
開催日時	令和4年2月17日(木) 午後2時01分から午後3時05分まで
開催場所	リモート開催(Webex会議)
出席者	小平市 外山まなみ委員 橋本孝二委員 多田政策担当係長 東村山市 横尾たかお副会長 志村誠委員 長谷川企画政策課課長補佐 清瀬市 宮原りえ委員 城野けんいち委員 友木企画課主事 東久留米市 当麻一哉委員 高橋和義委員 大北企画調整課主事 西東京市 佐藤大介会長 田村ひろゆき委員 協議会会長 池澤隆史 西東京市長 事務局 保谷事務局長 鈴木次長 安達主査
議題	(1) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算について (2) 令和3年度 専門委員会の活動報告及び評価について (3) 令和4年度 専門委員会の付託事項について
報告事項	(1) 令和3年度 多摩六都フェアの開催状況について (2) 施設の広域連携に関する取組について
会議資料	資料1 令和4年度予算の概要(主な増減) 資料2 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算 資料3 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会歳入歳出予算 事項別明細書 資料4 令和3年度 専門委員会の活動報告及び評価について(2月7日時点) 資料5 専門委員会報告 資料6 令和4年度 専門委員会への付託事項 資料7 令和3年度 多摩六都フェア日程表 資料8 施設の広域連携に関する取組について
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録
会議内容	
1 開会	
2	多摩北部都市広域行政圏協議会 審議会会長 挨拶 多摩北部都市広域行政圏協議会会長 挨拶
3 議題	(1) 令和4年度 多摩北部都市広域行政圏協議会予算について ●事務局から、資料1、2、3により説明 ・令和4年度協議会予算は、協議会で承認を得たもの。

・総額は 1,714万9千円で、前年度比 288万8千円の増。過去10年間で平成31年度・令和2年度に次いで3番目に大きい。主な要因は、協議会Webサイト再構築による増。

<歳入>

・各市負担金は、西東京市に上乗せした助成金分を除くと過去10年間で最少。均等割と人口割で算出し、人口は令和2年国勢調査による。

<歳出>

・職員人件費の減、会計年度任用職員の雇用期間短縮による減。
・事務局移転費用、Webサイト再構築による増。

●質疑応答

(田村委員)

①事務費でコピー費と通話料の減は何か。

②市民はどのように協議会ホームページに辿り着くのか。各市や多摩六都科学館のホームページにリンクは貼られているのか。

(事務局)

①西東京市総務課との調整により、本年度の実績を考慮して科目存置とした。今後、他市に事務局移転する際は、その時の状況で計上する。

②各市ホームページのトップ画面には協議会へのリンクはないが、各市の広域連携のページからリンクできる。また、ホーム画面の他に、施設名の検索からの訪問も多い。

(田村委員)

①事務費削減について、協議会でもペーパーレス化が可能なら取り組んでほしい。

(宮原委員)

会計年度任用職員の人件費の減は、人数の減か。

(事務局)

令和3年度は1人12月間の見込みで、令和4年度は5月間としたことによる。令和3年度は、実際には雇用しなかった。

(宮原委員)

本年度、雇用しなかった理由は何か。

(事務局)

令和3年度予算の編成時は多摩六都広域連携プランを策定中で、事務量が定まらなかったため、会計年度任用職員は大きめの予算とした。プラン完成後に、令和4年度にWebサイト再構築を行ってその際に雇用することとしたため、本年度は会計年度任用職員を雇用しなかった。

(2) 令和3年度 専門委員会の活動報告について

●事務局から、資料4、5により説明

・多摩六都広域連携プランでは、協議会が各専門委員会の毎年度の活動報告を受けて、取組を評価することとしている。今回が初めての評価となる。

・各専門委員会には、年度当初にプランに沿った取組を付託している。

●質疑応答

(田村委員)

①次年度も、コロナで中止とならないイベントや取組をお願いします。

②都市計画道路の整備促進と連続立体交差について、隣接する埼玉県や新座市、所沢市への働きかけや連携は、これまでされているのか。

(事務局)

②新座市や所沢市との連携は特段行ってない。実施主体の東京都への対策が中心になっている。東京都は都市計画道路整備などで埼玉県とも連携しているので、必要に応じて、新座市や所沢市との連携も今後検討していく。

(田村委員)

都施工部分だけ完成しても、先には進めないと住民目線では意味がない。連携を深めてほしい。

(宮原委員)

①清瀬は埼玉に挟まれているような地域なので、連携をお願いします。

②公園における指定管理者制度について、どのような効果があったのか。

(事務局)

一つの公園だけでなく広い地域を対象に指定管理を行っているため、他の公園の管理もできるという効果があると、西東京市から聞いている。

(3) 令和4年度 専門委員会の付託事項について

●事務局から、資料6により説明

- ・令和3年度の活動報告及び評価を踏まえて、協議会で来年度の付託事項をまとめた。
- ・生涯スポーツ専門委員会の、令和7年度までの大まかな方向の記載を、整理・修正した。
—質疑なし

3 報告事項

(1) 令和3年度 多摩六都フェアの開催状況について

●事務局から、資料7により説明

- ・感染拡大防止のため、参加人数の制限や日程の変更、セレモニーの縮小などの工夫を行い、4つのイベントを開催した。2月開催予定の3イベントは、感染拡大の影響で中止となった。
—質疑なし

(2) 施設の広域連携に関する取組について

●事務局から、資料8により説明

- ・多摩六都広域連携プラン初年度の本年度は、各市の状況を確認した上で、今後の取組の方向を検討した。幹事会で定期的な情報交換や研究を行い、5市の間で共通の土壌を作っていく。

(宮原委員)

第1回審議会で、他市の図書館で借りた本を地元の図書館に返却できるよう意見したが、その後検討はあったか。

(事務局)

幹事会で各市に報告し共有した。引き続き検討していきたい。

(外山委員)

どの市でも持続可能な公共施設が大きな課題となっている。市民にとって魅力あるという観点から、例えば、図書館等の5市における相互利用の施設を統廃合するような検討もしてほしい。

(事務局)

令和4年度以降も幹事会で情報交換や研究を行うこととしているので、幹事会に示していく。

5 その他

●事務局より連絡

- ・本年度から協議会と審議会の会議要録を公開している。

6 閉会